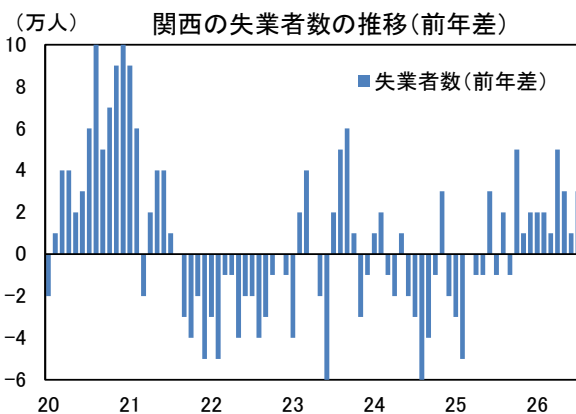
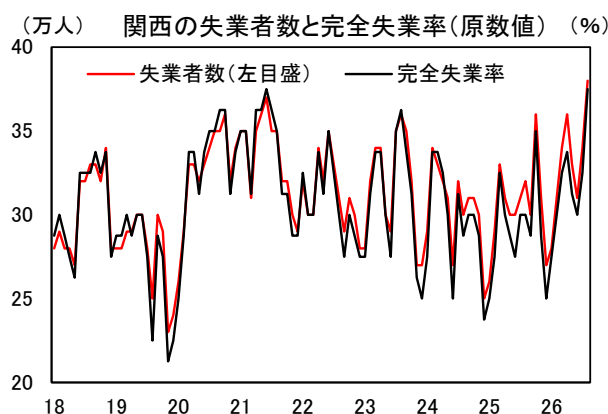
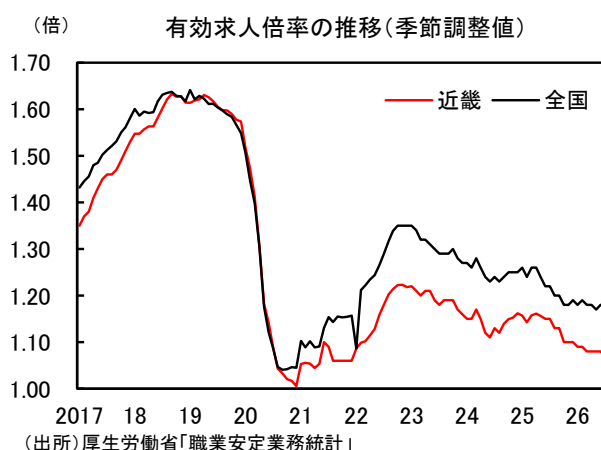
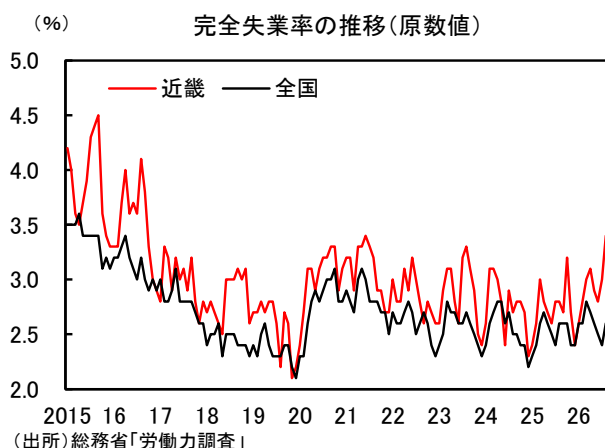


関西の景気ピックアップ【雇用関連（26 年 8 月）】

- 26 年 8 月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は 3.4%（原数値）と、前年比で 0.6 ポイントの上昇となった。失業率が前年を上回るのは 5 か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で 2 万人の増加で、失業者は 6 万人の増加、非労働力人口は 10 万人の減少となっている。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、26 年 8 月は 1.07 倍（季節調整値）と前月比で横ばいとなった。足元の動きについては、25 年 5 月の 1.16 倍をピークに緩やかな低下傾向が続いている。
- 直近の雇用市場では、深刻な人手不足の状況にある一方、このところは完全失業率の上昇が進んでいる。これは完全失業者数が増えていることを意味しており、関西では 38 万人とほぼ 10 年ぶりの高水準となった。2010 年代は 30～60 万人で推移しており、まだ懸念されるような水準ではないものの、近年は倒産件数が増えているだけに今後の推移が注目されよう。



本件照会先:大阪本社 荒木秀之
 TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp